

高圧ガス保安法に係る手続き

事 故 届

- (1) 届出単位 高圧ガス販売事業者が行うこと。
- (2) 届出時期 法令で定められた事態になったとき、遅滞なく行うこと。
- (3) 提 出 先 事故が発生した所在地を管轄する知事
- (4) 提出書類
 - ① 事故届書
 - ② 高圧ガス事故調査報告書
 - ③ 消費先保安台帳の写し
 - ④ 消費先の高圧ガス設備概要図★様式は様式集Ⅴを参照すること。
- (5) 作成要領
 - ① 高圧ガス事故調査報告書
 - ・関係事項のみ記載すること。
 - ② 消費先の高圧ガス設備概要図
 - ・高圧ガス消費設備のどの部分で事故が発生したかを明記すること。

高圧ガス事故等調査報告書 記載要領

1. 報告年月日及び整理番号

2. 報告作成者

3. 報告段階

4. 事故の呼称

下記の例を参照にガス名、災害現象のすべてを記載する。

製造事業所又は冷凍事業所：「〇〇株式会社〇〇工場〇〇ガス容器盗難事故」

消費先等：「〇〇ガス容器の盗難事故」

5. 法令区分

高圧法上の適用規則のうち該当するもの、認定事業所の有無及び発災施設が認定施設又は非認定施設かの区分を○で囲む。なお、適用規則の略称は以下の通り。

一般則：一般高圧ガス保安規則

L P 則：石化石油ガス保安規則

冷凍則：冷凍保安規則

コンビ則：コンビナート等保安規則

6. 場所

該当項目を○で囲む。

7. 規制対象別

該当項目を○で囲む。

8. 事故発生区分

該当項目を○で囲む。

9. 事故発生原因

該当項目を○で囲む。

10. ガスの種類及び名称

当該事故に係る高圧ガスについて該当項目を○で囲み、又は「6. その他」にあつては（ ）内にガス名を記載する。なお、その他には（ ）内に下記の分類例を参考にしてガス名を記載する。

11. 設備概要

該当項目を○で囲む。その他の場合は（ ）内に具体的に記載する。

12. ガスの名称、容器の容量及び本数

「容器の容量及び本数」欄は、ガス別に容量（kg又はm³）及び容器本数を記載する。

13. 容器の記号番号

容器の記号番号が判明している場合には記載する。

14. 施錠の有無

該当項目を○で囲みます。

15. 容器交換の頻度

該当項目を○で囲み、交換頻度が判明している場合には記載する。

16. 官公庁で講じた措置及び対策

17. 事業所側で講じた措置及び対策

措置及び対策を箇条書きで記載する。なお、措置及び対策を行った文章を必要に応じて別添につける。

18. 法令違反の有無

19. 官公庁で出した通知文書、新聞等の写し、図面、写真、所見等

所見については、当該事故発生事業所の危害予防規程、保安教育計画の遵守状況等その他事故に関する問題点等について記載する。

別紙については、必要に応じて事業者からの事故届、新聞等の写し、図面（工程図、機器工場図等）、写真（カラー写真であればより望ましい。）、地図等を添付する。

※1、3、16、18は県庁側で記入するため報告者は記載しない。